



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

・災害時におけるライフラインを確保して欲しい。（地元住民）

事業前

◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

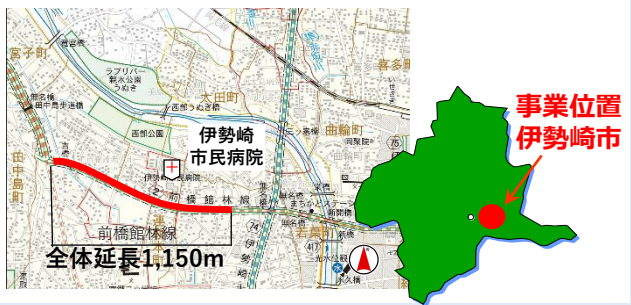
◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



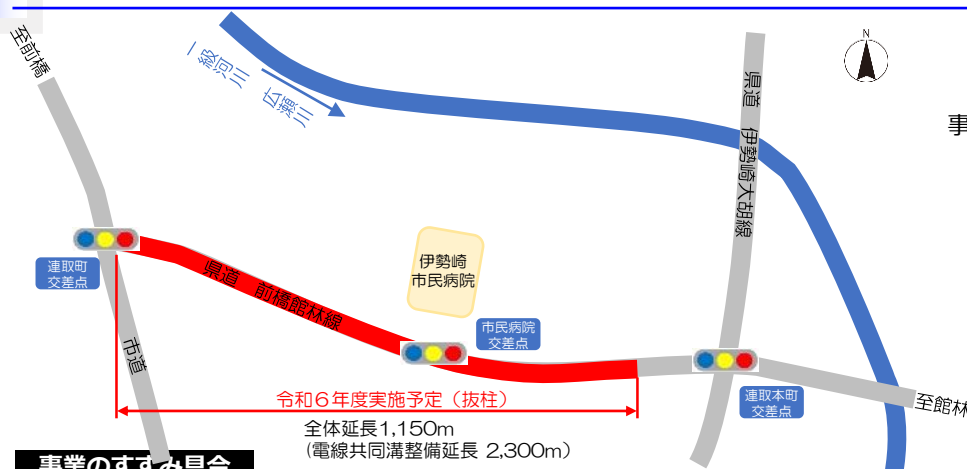
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：伊勢崎市連取町
- 事業内容：電線共同溝整備延長 2,300m
- 事業期間：平成26年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、電柱の撤去を行い、事業を完了させます。



現在の状況

事業のすすみ具合

事業開始 ●

●●● 事業完了